

整理番号 2021P-136

補助事業名 2021年度 引きこもり・不登校・生活困窮・LGBTに対する
支援活動 補助事業

補助事業者名 公益社団法人青少年健康センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

「ひきこもり等生きづらさを抱えた方々やそのご家族が、いきいきと社会参加、生活できると社会」を目指すため電話相談・相談/居場所支援・普及啓発活動等を実施しています。

(2) 実施内容

[公益社団法人 青少年健康センター » 平成26～2021年JKA報告書 \(sk-net.or.jp\)](https://www.sk-net.or.jp)

①<親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会>

<https://l.seminar.sk-net.or.jp>

“8050問題”等、近年ひきこもり家庭での親の高齢化の課題も可視化されるようになってきました。ひきこもりが長期化し、中高年に達した当事者、特にその家族を主な対象として、ファイナンシャルプランナーによる生活・経済面にフォーカスした講座および個別相談会を開催しました。知識を学ぶ講座だけでなく、受講者を優先とした個別相談会も設けることで、各家庭の状況に沿ったより実践的なアドバイスが可能となります。



Facebookで公益社団法人青少年健康センターさんのコンテンツをもっと見よう
オンライン講座の様子



個別相談会の様子

②<対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いたひきこもりダイアログ講座の開催> (<https://h-seminar.skc-net.or.jp>)

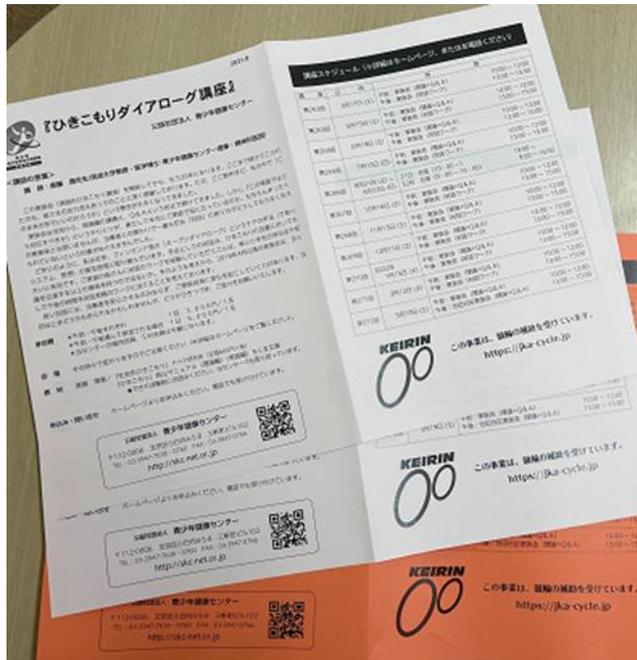
フィンランドのケロプダス病院にて1980年代から開発と実践が続けられてきた治療技法「オープンダイアログ」を用いた講座を開催しています。精神科医の斎藤環氏をはじめ、2～3名の運営補助がグループワークのファシリテーターの役割を担い、「理論編」としての座学ならびに参加型の「ワーク」を行います。対話を中心としたグループワークを通じ、参加者の家族関係を見つめ直す機会となるよう実施しています。



Facebookで公益社団法人青少年健康センターさんのコンテンツをもっと見よう

講座の様子

ひきこもりダイアログ講座 受講案内 2,000部



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

- ・当法人機関紙「ニュースレター」No. 58
(現在作成中・2022年夏期500部発行予定)
- ・Facebookにて開催報告
<https://ja-jp.facebook.com/YSCPIIS/>

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人青少年健康センター
(コウエキシャダンハウジンセイシヨウネンケンコウセンター)

住 所： 〒112-0006
東京都文京区小日向4-5-8 三軒町ビル

代 表 者： 代表理事 齊藤環 (サイトウタマキ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局長補佐 鈴木隆之 (スズキタカユキ)

電 話 番 号： 03-3947-7636

F A X： 03-3947-0766

E-mail: info@skc-net.or.jp

U R L: <https://skc-net.or.jp/>